

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県宍粟市 公立宍粟総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	対象	ド透訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
38,013	14,078	非該当	7：1	

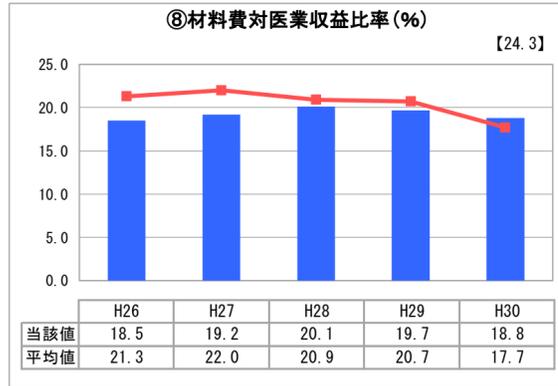
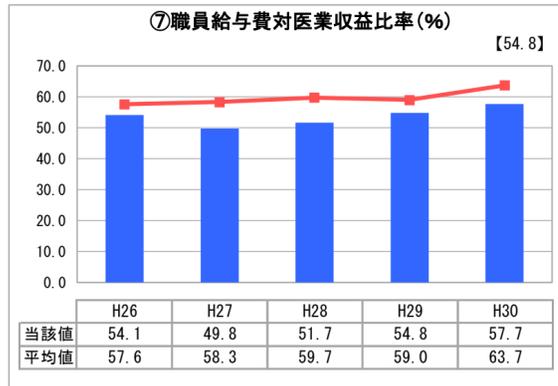
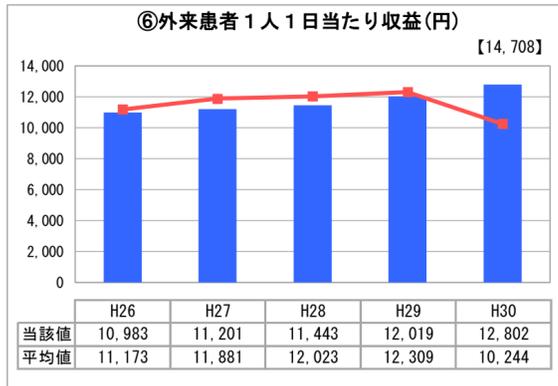
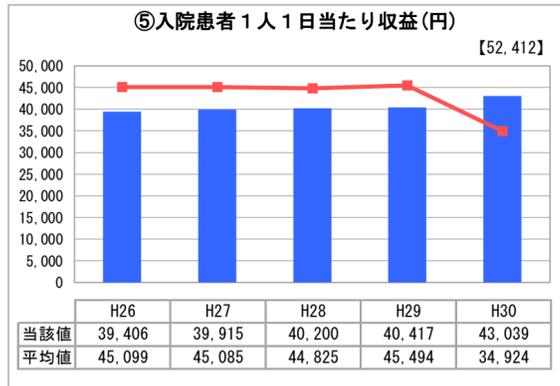
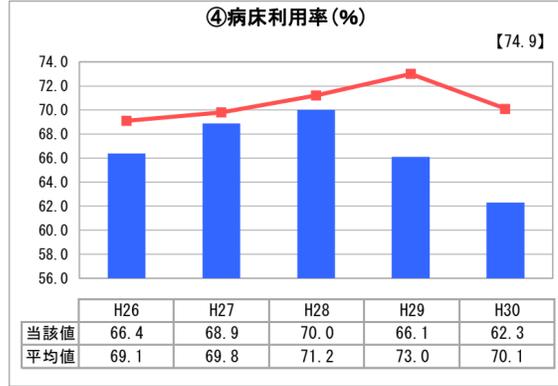
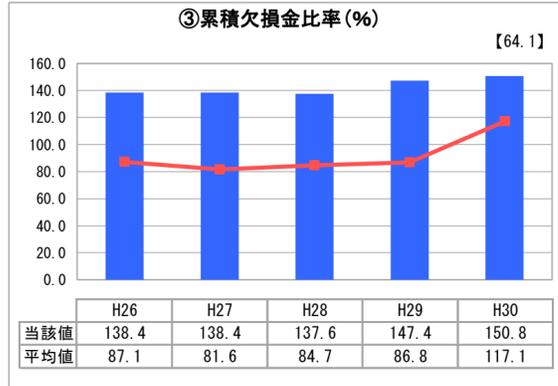
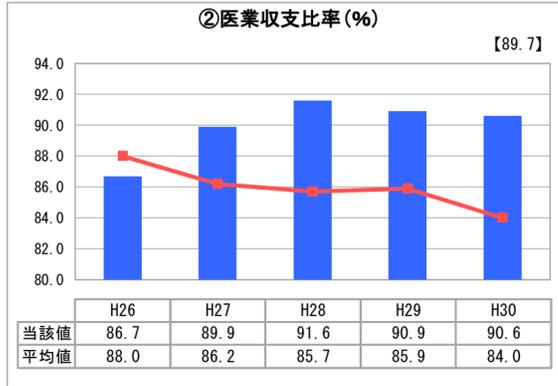
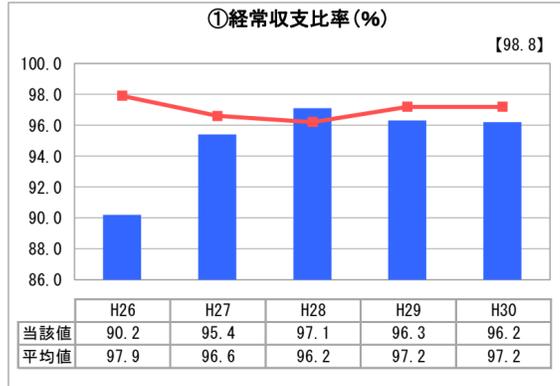
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

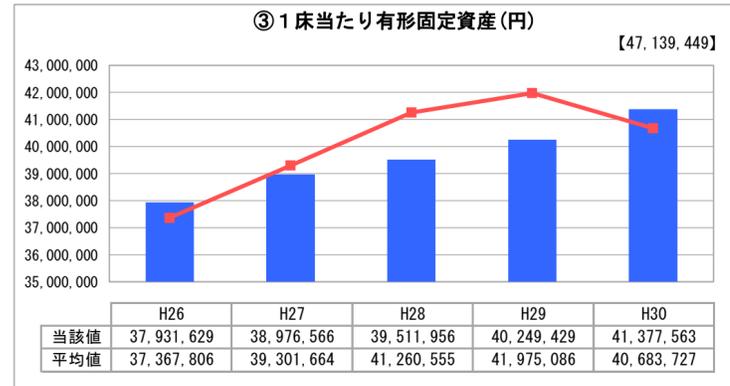
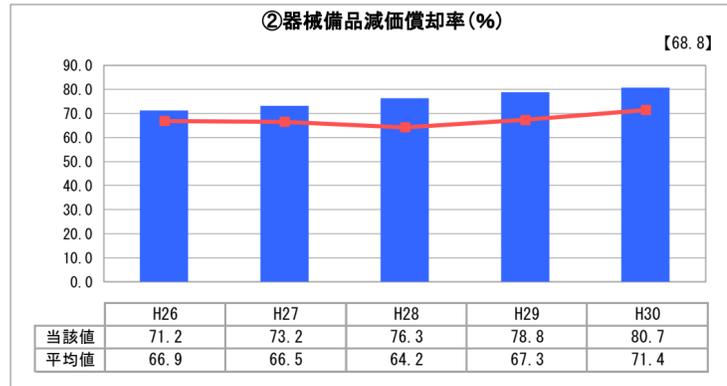
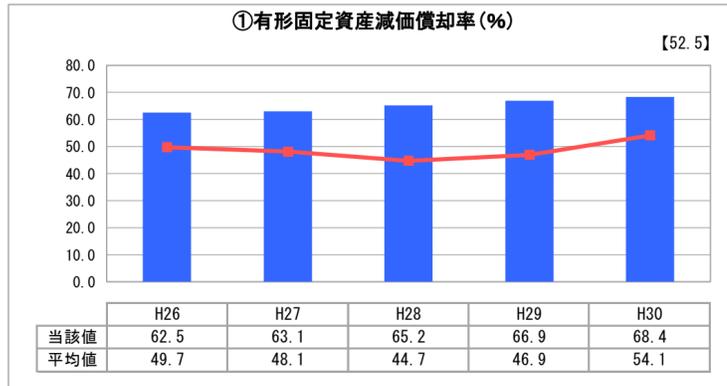
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
192	-	192

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

兵庫県北西部に位置し人口減少及び高齢化が進む地域において、市内唯一の急性期病院であり、へき地拠点病院の指定を受けている当院は診療所では提供が困難な救急・急性期医療を提供していくことに加え、地域包括ケアシステムの基幹病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域の医療ニーズに沿った病床数・病床機能の見直しにより、地域完結型の医療を確立するため、回復期病棟の1床あたりの床面積を増やし療養環境の改善を図りました。これにより、上位の施設基準を取得し、200床未満の病院としたことに伴う診療報酬の算定変更などにより、入院・外来とも1日1人当たり収益は増加した。

費用については、後発医薬品使用拡大による材料費の抑制、電力供給契約の見直しや院内照明のLED化などにより経費削減に努めた。病床利用率は減少傾向だが、1日1人当たり収益の増加や費用抑制により医業収支比率は昨年並みを維持している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は68.4%と平均値を14.3ポイント上回っています。平均値との差が大きく、施設・設備の老朽化は進んでいる状況です。特に医療機器の老朽化が進んでおり、減価償却率は80.7%と高くなっています。

現病院は建築後34年が経過し、老朽化や新しい設備を導入する場所がない等の状況になっています。現在病院建替え事業を進めており、長期的・計画的な設備投資を行っていく。

全体総括

市内唯一の急性期病院であり、二次救急病院として急性期・回復期医療を維持確保し、地域包括ケアシステムの基幹病院としての役割を担っている。

施設の老朽化が進んでおり、適切な病床機能・医療ニーズに沿った病院建替えには、経営基盤の安定化が喫緊の課題であるため、新たな施設基準を取得することにより増収に努め、施設整備や医療機器の更新は計画的に最低限とし、病院改革プランに基づき経営改善に努めていく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。